

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 06年 6月 21日

香川県知事 殿



提出者

住 所 香川県高松市伏石町2089番地1  
氏 名 大和ハウス工業株式会社 四国支社  
支社長 野志 征生

電話番号 087-816-0935

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	香川県管轄内事業場
事業場の所在地	香川県管轄区域内
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和 05年 4月 1日から令和 06年 3月 31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

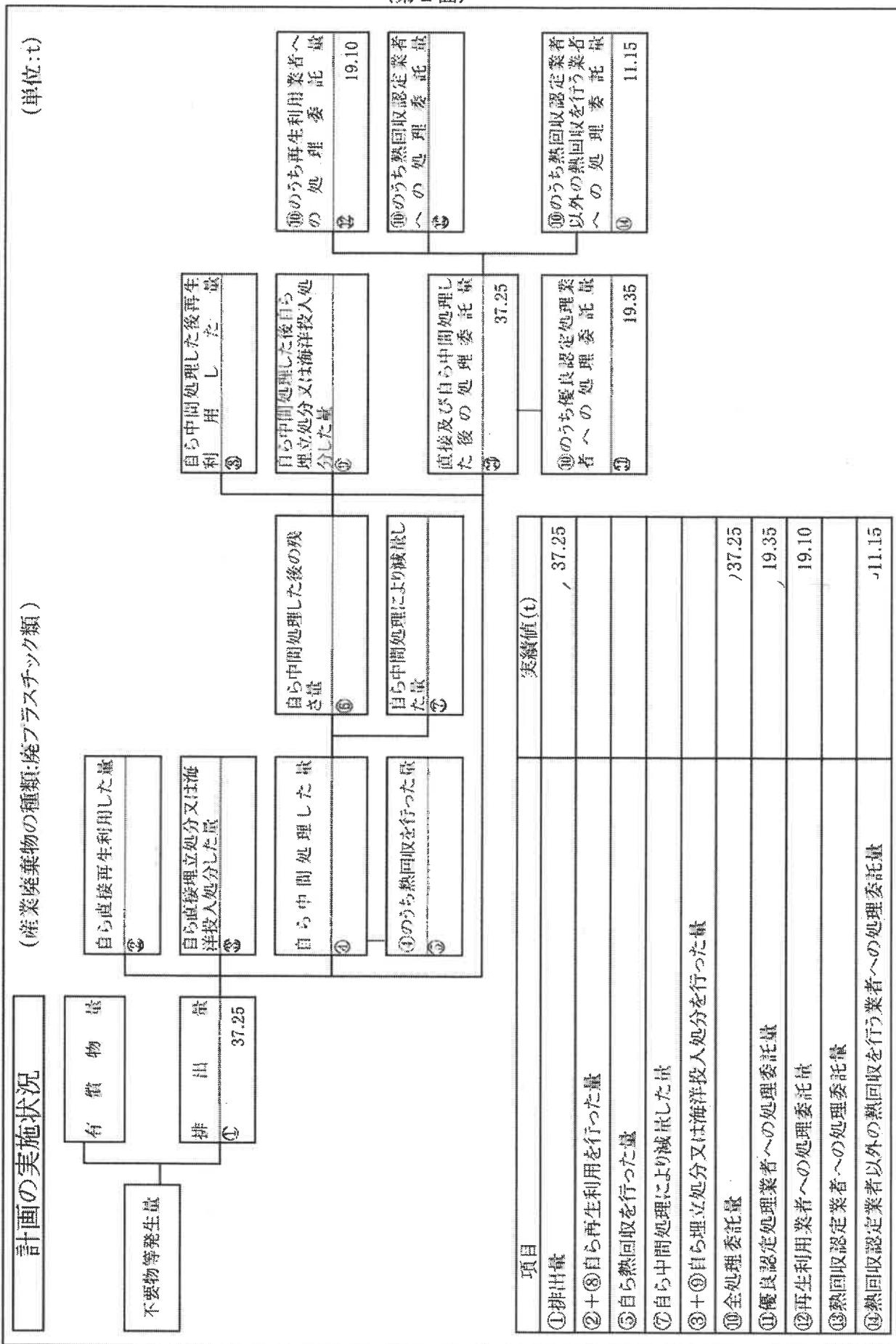
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2,045.0 t	全処理委託量	2,045.0 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処理委託量	152.0 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	1,680.0 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	30.0 t
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

## 計画の実施状況

(業界発葉物の種類: 焼プラスチック類)

(三)



計画の実施状況

(産業労働物の種類: 金属くず)

有機物量	自ら直接再生利用した量 ④
排出量	自ら直接埋立処分又は海 洋投入処分した量 ⑤
自ら中間処理した量 ④	自ら中間処理した量 ④
不要物等発生量	①のうち熱回収を行った量 ⑤

(産業労働物の種類: 金属くず)

(单位:t)

(第2面)

項目	実績値(t)
(①)排出量	/ 21.82
(②) + (⑧)自ら再生利用を行った量	
(③)自ら熱回収を行った量	
(⑦)自ら中間処理により減出した量	
(⑨) + (⑩)自ら埋立処分又は海洋投人処分を行った量	
⑪全処理委託量	/ 21.82
⑫優良認定処理業者への処理委託量	/ 6.67
⑬再生利用業者への処理委託量	/ 21.82
⑭熱回収認定業者への処理委託量	
⑮熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
⑯うち熱回収認定業者以外の熱回収を行った業者への処理委託量	
⑰うち優良認定業者への処理委託量	
⑱自ら熱回収を行った業者への処理委託量	
⑲自ら中間処理により減出した量	
⑳自ら埋立処分又は海洋投人処分を行った量	
㉑全処理委託量	

### 計画の実施状況

(洋業廢棄物の種類:ガラス<sup>ガラス</sup>・コンクリート<sup>コンクリート</sup>及び陶磁器<sup>セラミック</sup>)

物質量	排出量	60.39
不要物等発生量	自ら直接再生利用した量 ④	自ら直接埋立処分又は海上投棄した量 ⑤

卷之三

項目	実質量(t)
①排出量	60.39
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海上投棄を行った量	
⑩全処理委託量	60.39
⑪優良認定業者への処理委託量	14.49
⑫再生利用業者への処理委託量	36.26
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.48
⑭熱回収業者以外の熱回収を行いう業者への処理委託量	0.48

## (産業廃棄物の種類:がれき類)

(産業発展の種類:がれき類)

有價物	自ら直接再生利用した量 ⑥
排出量	自ら直接埋立処分した量又は海 洋投人処分した量 ⑦
自ら中間処理した量 ⑧	
不要物等発生量	⑨うち熱回収を行った量 ⑩

(第2面)

項目	実績値(t)
①排出量	2,333.68
②+⑧自ら再生利用を行った量	/
⑥自ら熱回収を行った量	2.05
⑦自ら中間処理により減出した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	2,333.68
⑪優良認定処理業者への処理委託量	/
⑫再生利用業者への処理委託量	2,333.67
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
⑮うち熱回収認定業者以外の熱回収を行業者への処理委託	2.05

### 計画の実施状況

### (産業廃棄物の種類:紙くず)

(单行)

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:木くず)

(単位:t)

有 害 物 量	自ら直接再生利用した量
不 要 物 等 発 生 量	自ら直接埋立処分又は海上投棄した量
①	122.40

項目	実績値(t)
①排出量	/ 122.40
②+⑧自ら再生利用を行った量	/
③自ら熱回収を行った量	/
④自ら中間処理により減出した量	/
⑤自ら中間処理により減出した量	/
⑥自ら埋立処分又は海上投棄を行った量	/
⑦自ら中間処理により減出した量	/
⑧+⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海上投棄した量	/
⑩自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海上投棄した量	122.40
⑪のうち再生利用業者への処理委託量	106.10
⑫再生利用業者への処理委託量	120.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	1.50
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1.50

(第2面)

計画の実施状況

(産業薬物の種類: 石綿含有産業薬物)

有機物質	堆山量 6.19	自ら直接再生利用した量 6.19
不要物等発生量	自ら直接埋立処分又は海上投棄した量 6.19	自ら直接再生利用した量 6.19

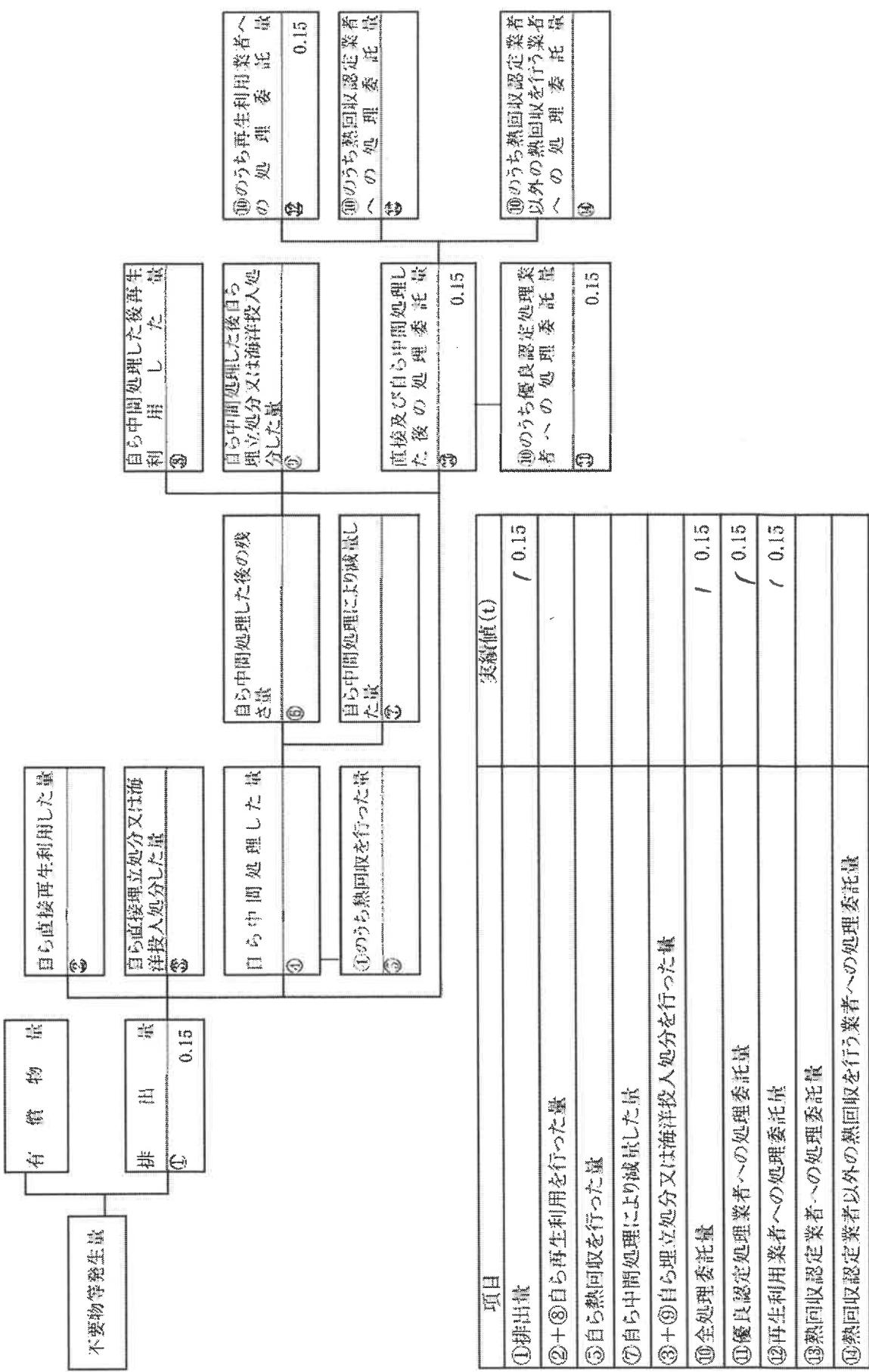
(産業薬物の種類: 石綿含有産業薬物)

項目	実績値(t)	
①排出量	6.19	⑥自ら中間処理立入処分又は海洋投入処分した量
②+⑧自ら再生利用を行った量	/	⑦自ら中間処理により減量した量
③自ら熱回収を行った量	1.67	⑧+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
⑩全処理委託量	6.19	⑪優良認定処理業者への処理委託量
⑫再生利用業者への処理委託量	/	⑫+⑬熱回収認定業者への処理委託量
⑯熱回収認定業者以外の熱回収を行なう業者への処理委託量	1.67	

### 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:水銀使用製品産業廃棄物)

(单位: 元)



## 備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑪の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。